

# 中部の秋播飼料作物

一應関東、中部、近畿地方を包含して中央部としたが、本地域は氣候的にも地勢的にも中々複雑多岐でありますので、これを便

部

中央部

関東

中部

近畿

高冷な東山地方

多雪多湿な北陸地方

寒冷な東山地方

温暖な東海近畿地方

(集酪地区)

(間蓼科山麓)

(富士山麓)

(山梨八岳)

(戸隠山麓)

(浅間山麓)

(長野八岳)

(西加茂)

(東濃)

(東三河)

(東濃)

つており早播きが有利で、品種では根部収量で紫丸かぶ一・〇三貫に対し蓄試丸かぶは八六一貫で紫丸かぶの優れていることが発表されています。

を第一に考へることが必要でしよう。然し現在尙雲霧英の安定した収穫のできない處は、これに代る他の作物の選定栽培を考えなければなりません。

苗床期間の延長種収量低下が顕著ですから早期移植を励行すべきであります。又水田跡地を利用して玉蜀黍を栽培し冬季の青刈とともに近年行われております。

(口) 煙地裏作としてはかぶ、ルタバガ、燕麦、ライ麦、イタリアンライグラスが適作物です。

（二）山梨県八岳農試分場に於ける青刈  
レープの試験では毎月二十日播きのものを  
五月一日の開花期刈取りで晚生のC.O.が  
最も良で、一九五貫在来なたねの東北二四  
号は一二五一貫でC.O.が青刈として断然  
優れた成績を示しております。

（木）長野県八岳寒冷地試験地では早春  
利用に適しているライ麦とレープを刈取期  
に交換する方法實質上好んで利用されて  
いるが、この方法についても前記の如く  
の結果を得て、その効用は確実である。  
但し、この方法は、種子供給の問題から  
必ずしも現実的でない。

飼料作物の生育期間と収穫期、収量 (石川県農試)							
十 月	十一 月	十二 月	一 月	二 月	三 月	四 月	反当收量 (貫)
	///			///		///	1220.0
	○			///		///	2943.0
△	///			///		///	7530
				///		///	944.1
	///			///		///	877.2
	///			///		///	671.3
△	///			///		///	327.0
				///		///	723.6
				///		///	590.0
				///		///	633.0

(1) 畑地及び草地

(イ) この地方は河川敷酪農の最も發達したところである。畠地と草地が混在する。

(A)	青刈えん麦—甘藷—聖護院かぶ—青刈なたね
(B)	青刈蚕豆—青刈玉蜀黍—聖護院かぶ 青刈えんばく
(C)	青刈なたね—青刈玉蜀黍—青刈大豆 ルタバガ(スウェーデンかぶ)
(D)	ルタバガ—馬鈴薯—美濃早生大根— 青刈蚕豆
(二)	水田裏作ではいね科では燕麦、ラ イ麦、蕎麥ではコンモンベーツ、紫雲英、 赤クロベー、十字科では下種かぶ、レー ア等が好成績です。

第一図 水田裏作飼料作物の生育期間と収穫期、収量  
(石川県農試)

作物名	月別		九月	十月	十一月	十二月	一月	二月	三月	四月	反当収量 (貫)
	月	月									
イタリアンライクラス	△				///			///			1220.0
レ 一 プ	△	△		○				///			2943.0
ラ イ 麦	△	△	///		///		///	///			7530.0 9441.0
蒸 素	△	△	///		///		///	///			877.2 671.3 327.0
コンモンベッヂ	△						///				423.6
コンモン ライ麦	△							///			590.0
コンモン・蒸 素	△							///			633.0

△播種期 ○移植期 —— 生育期 ▲收穫期

四 東海近畿地方

(イ) この地方は河川敷酪農の最も發達した地区であるが、巴氏ミルクの生産量は年々増加の一途を辿っている。

レープは九月七日播きで、第一回刈取りを五月十一日とした場合が有利で、その収量は第一回四六四貫と第二回一九九貫、計五六九貫である。

(へ) 高冷地帯に於て行われている草地の冬季灌漑は草地の高度利用として卓越した方法であります。この灌漑草地の優良草種について高冷地試験地で調査した結果はライグラスが最もよくついでチモシー、オーチャードで、これらの草種の侵占しているところは何れも一番刈で一〇〇〇一、五〇〇貫の収量を挙げており、又萱科で一、五〇〇貫の収量を挙げており、又萱科では赤クロバーレイが良好です。

ベッヂ等何れも多収で適作物と言えます。  
**(口) 水田裏作の根菜栽培について**石川県農試では紫丸かぶを用いて播種期と収穫期について調査した結果、最高の収量を得たのは次回通りで、何れも九月上旬迄に収穫ではあるが、八月五日(早農林収穫跡)播が七九四貫〇十二月二十日(刈取跡)播が六三四貫〇九月五日(農林二号刈取跡)播が六三四貫

(1) この地方は河川敷酪農の最も達した地区であります。肥沃で土壤水分の多い河川敷地は各種の優良牧草にとても生育適地であります。多くの場合、堤防強化のため耕起を禁止されてゐるため、生態系の導入が今や行われてゐない状態にあります。また、牧草の種類によつては充分繁茂して改良の効果を發揮できるものがあり、西南暖地に於ては刈草後ラデノクロバーを全面に追播して二年目から生産草量の五割以上をラデノクロバーで占め、充分改良の効果を挙げ得るところが実証されております。

又長草は數年一度次のような牧草の混合追播を行つて草生を改良し、一日八、九時間の放牧で一斗から一斗二升の牛乳を放牧だけで搾つてゐると言われております。

(封度)

(ト) 桑園 果樹園等園地の害食防除と  
地力維持のためにオーチャードグラス、  
クロバーラ類、ベックチ類等が優れています。

○三月十日収穫では  
九月五日(農林一號刈取跡)播が六一一貫  
播種した方がよく、九月中旬以降に播種し

### 三 北陸地方

たものは収量が落ちています。

(一) 水田地帯  
(イ) 米どころ北陸地方の水田は、その裏作綠肥として紫雲英の研究も盛んで、品種的にも栽培技術的にも多雪多湿地帯にも普及しつつありますので、これらの飼料化

苗床期間と移植の時期について調査した結果、八月二十日苗床播種、三週間後の九月十日に水田に移植したものが、十二月上旬以降三月中旬まで各時期とも収量多く一、〇三〇貫から一、二九〇貫を挙げております。

備考

備考  
一 各作物とも播種期刈取り回数等種々  
区別して試験しております。最高収量  
の分だけ摘出しました。  
二 従つて本地方ではこの時期の播種刈  
取りが有利です。  
三 山地、里山

正里山、馬、三

東濃高集酪（岐阜県）地区の木曾山系に始まり日本アルプス、紀伊、中国山脈と更

（早県）地区の木曾山系に  
ス、紀伊、中国山脈と更

に中小山脈が縦横に走る本地区は山地、山岳での利用草地も相当な面積ですが、この

に走る本地区は山地、山

地帯の適草種は、東山、関東、西南の採草地に準じてよいわけです。